

令和4年度 山形広域環境事務組合地球温暖化対策実行計画取組状況

当組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律 第 21 条第 1 項に基づき、令和 4 年 7 月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定しました。計画最終年度（令和 12 年度）には、当組合の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの総排出量を、基準年度（令和元年度）より、2,000t-CO₂削減することを目標として取り組んでおります。

以下、同法 第 2 1 条第 1 0 項に基づき、実行計画の進捗状況を報告します。

1 計画の基本的事項

(1) 計画の対象範囲

当組合で管理・運用している以下の 4 施設と組合事務室

- ・山形広域クリーンセンター（し尿処理施設）
- ・立谷川リサイクルセンター（粗大ごみ等処理施設）
- ・エネルギー回収施設（立谷川）（一般廃棄物焼却処理施設）
- ・エネルギー回収施設（川口）（一般廃棄物焼却処理施設）
- ・山形広域環境事務組合事務室（山形市役所内）

また、対象とする温室効果ガスは以下の 4 種類

- ・二酸化炭素（CO₂）
- ・メタン（CH₄）、
- ・一酸化二窒素（N₂O）、
- ・ハイドロフルオロカーボン（HFC）

(2) 計画期間

策定年度の令和 4 年度（2022 年度）から令和 12 年度末（2030 年度末）まで令和 9 年度（2027 年度）に計画の見直し

		計 画 期 間										
年度	R1	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
西暦	2019	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
計画	基準年度	策定・開始				中間目標					最終目標	
		← 5ヶ年分の実績と中間目標との比較 →					見直し					
								← 4ヶ年分の実績と最終目標との比較 →				総括公表

(3) 目標値

中間目標年度令和 8 年度（2026 年度）の温室効果ガス総排出量は、

基準年度から 1,116 t-CO₂ 削減し、44,394t-CO₂

最終目標年度令和 12 年度（2030 年度）の温室効果ガス総排出量は、

基準年度から 2,000 t-CO₂ 削減し、43,510t-CO₂

2 令和4年度の取り組み

(1) 令和4年度温室効果ガス排出状況

令和4年度の温室効果ガス総排出量は、下記のとおり **42,309.9t-CO₂** となり、基準年度の総排出量 45,510.5 t-CO₂ と比較すると、**3,201t-CO₂** の削減となりました。

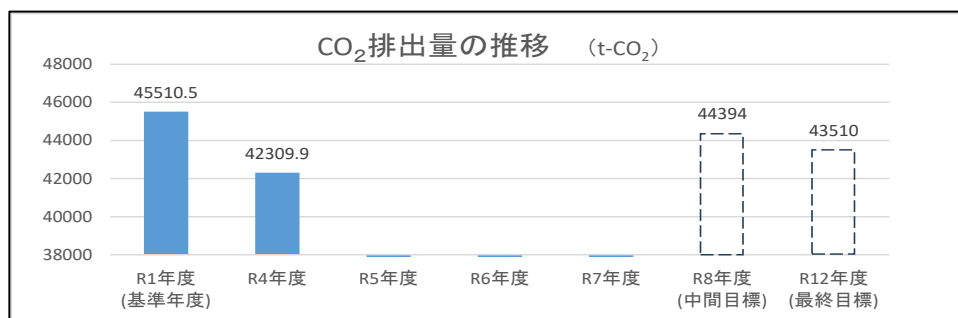
エネルギー起源 CO₂ は電気・燃料使用量の削減、非エネルギー起源 CO₂ は廃棄物搬入量の減少が要因となり、目標値を大きく下回る結果となりました。

		R1年度 (基準年度)	R4年度 (実績)	R8年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)	R1/R4比較
エ ネ 計 非 エ ネ	全体CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	45,510.5	42,309.9	44,393.9	43,509.8	-7.03%
	基準年度との差(小数点以下切捨)		△ 3,201	1,116	2,000	-
	前年比		-7.0%			

施設		R1年度 (基準年度)	R4年度 (実績)	R8年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)	R1/R4比較	基準年度との比較 (増減に関わる主な要因)
エ ネ 起 源 C O 2 等	山形広域クリーンセンター	980.6	703.8	932.4	895.6	-28.2%	電気使用量削減による減少
	立谷川リサイクルセンター	516.1	532.9	490.9	471.6	3.3%	灯油使用量の増加
	エネルギー回収施設(立谷川)	1,889.9	1,241.2	1,797.3	1,726.5	-34.3%	灯油使用量削減による減少
	エネルギー回収施設(川口)	1,289.2	758.7	1,226.0	1,177.8	-41.1%	灯油使用量削減による減少 排出係数の低い電気小売り事業者へ変更
	事務局	8.5	8.3	8.1	7.8	-3.0%	公用車ガソリン量の削減による減少
	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	4,684.4	3,245.0	4,454.7	4,279.3	-30.7%	
	基準年度との差(小数点以下切捨)		△ 1,439	△ 230	△ 405	-	
前年比		-30.7%					

施設		R1年度 (基準年度)	R4年度 (実績)	R8年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)	R1/R4比較	基準年度との比較 (増減に関わる主な要因)
非 エ ネ 起 源 C O 2 等	山形広域クリーンセンター	27.9	26.0	18.6	18.3	-6.8%	搬入量減
	エネルギー回収施設(立谷川)	21,312.3	20,600.2	20,758.7	20,390.3	-3.3%	搬入量減
	エネルギー回収施設(川口)	19,485.9	18,438.7	19,161.9	18,821.9	-5.4%	搬入量減
	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	40,826.1	39,064.9	39,939	39,230.5	-4.3%	
	基準年度との差(小数点以下切捨)		△ 1,761	△ 887	△ 1,596	-	
前年比		-4.3%					

※表計算上の端数処理により、合計値が合わない場合がある。



(2) 今後の取り組み

上記のとおり、令和4年度は廃棄物搬入量の減等で基準年度より7.0%下回ることができました。引き続き、日頃から公用車の低燃費運転を心掛け、冷暖房の適正な使用等に努めるとともに、年に1回各施設の担当で開催する「推進担当者会」において、更なる温室効果ガス削減の検討を行い、最終年度の目標達成に向けて取り組んでまいります。